

年間第二十二主日

2016.8.28

ルカ 14・1.7-14

今日の福音は、ファリサイ派の人が招いてくれた食事の席でのイエスのおことばです。今日の福音のおことばを聞いた同席の人々はどのように感じたでしょうか。イエスはその人々がどのように思うかということに頓着せず、言いたいことを言っておられるように、わたしたちには感じられます。気まずい空気が流れたことでしょうか。何もこの場で、そのようなことを言わないでもと思ってしまいます。しかし、イエスの福音のおことばはこのようにして語られたのです。その場においては決して心地よくはないと思われるこれらのおことばを受け止めるということが、福音を受け止めるということであると言えるかもしれません。

イエスは今日の福音の食事の席で、天の国の宴席について語っておられるのです。そうすることによって、今日イエスのおことばを福音として聴くわたしたちを天の国の宴席に招いておられるのです。そのようなおことばとして今日の福音を心に留めたいと思います。

招待を受けたら末席に座りなさい。誰でも高ぶる者は低くされ、へりくだる者は高められる。天の国の宴席はこのようなものであるとイエスは言っておられます。このおことばはわたしたちをホッとさせてくれます。わたしたちは誰も自分が上席にふさわしいなどとは思っていないからです。こんな自分が招かれていることを知った喜びに満たされているからです。天の国とはそのようなものです。上席も末席もなく、みんな丸くなって、このような宴に招かれたことを喜び合える、そんな天の国の宴席に連ならせただけのことを心から待ち望んで、この日々を生きてゆきたいと思います。イエスさまがそのことを保証してくださるのです。

カトリック高円寺教会
主任司祭 吉池好高